

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	05	花と緑のたかつ推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			676200		道路公園センター整備課			小森	74560

事業の概要									
事業の概要		区内に潤いのある空間を創出するため、市民との協働による花と緑のまちづくりの推進を図ることを目的とし、次の内容を実施する。 (1)区内各所に設置したコンテナ・花壇の維持管理 (2)武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデンの花苗植栽管理							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		環境まちづくり事業費			
		平成14年度	—						
地域の課題と現状		都市化によりまちの緑が減少している中、緑地や水辺の整備、花と緑のまちづくりの推進により潤いのある空間を創出する必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,364	1,364	1,486	1,485				
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	1,364	1,364	1,486	1,485				

計画 (Plan)	
事業の目的	区内に潤いのある空間を創出するため、市民との協働による花と緑のまちづくりの推進を図る。
今年度の事業の取組内容	(1) 区内各所に設置したコンテナ・花壇の適正な維持管理 協力団体(「区民ミニ・ガーデン」連絡会)が適正に運営できる環境を整える。 (2) 委託による武蔵溝ノ口駅北口キラリデッキ円筒広場ガーデンの花苗植栽管理と、キラリデッキ植栽体験の実施。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・「区民ミニ・ガーデン」連絡会と3回の会議で意見交換を行い、植栽体験2回を開催することで協働での活動を実現した。 ・「区民ミニ・ガーデン」連絡会の新規会員募集PRを積極的に実施し、新年度から学校法人の参加を予定することができた ・キラリデッキ円筒広場ガーデンの適切な管理により、年間を通じて四季折々の草花を楽しむ空間を提供できた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	会員数	目標	69	70			人	
			実績	69	67				
	2 活動指標	コンテナ・花壇の箇所数	目標	11	11			箇所	
			実績	11	11				
3 活動指標	キラリデッキ花壇植栽体験の実施回数	目標	1	1			回		
		実績	1	1					
4		目標							
	実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		都市化に伴う緑の減少により、花と緑のまちづくりの推進による潤いのある空間の創出が求められている。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 年度 □ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新規会員獲得のため、活動PRを市政だより(区版)、市ホームページ、キラリデッキ花壇植栽時や花街道の一斉植栽時に	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	身近に四季を感じることができる緑豊かな地域環境が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	四季折々の色彩豊かな緑の景観を創り出している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民と行政との適切な役割分担のもとに活動を実施している。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 区民と行政の協働で草花で彩られた空間を提供できているが、会員の拡大に向けて更なる取組や対策を検討していく。		

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	10	高津区環境まちづくり普及啓発事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		高津区役所まちづくり推進部企画課		大橋	64121	

事業の概要									
事業の概要		「エコシティたかつ」推進方針に基づき、環境に関する区民意識の醸成及び行動を推進する取組を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		環境まちづくり事業費			
		平成21年度	—						
地域の課題と現状		自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して総合的かつ多角的に取り組む必要があることから、区民一人ひとりの意識の向上及び環境配慮に関する積極的な取組を促す必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,441	1,221	1,410	1,180				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	1,441	1,221	1,410	1,180				

計画 (Plan)	
事業の目的	「エコシティたかつ推進方針」の区民に対する普及啓発活動のほか、区役所庁舎のエコシティ化を推進し、環境啓発を実施する。
今年度の事業の取組内容	「エコシティたかつ推進方針」の普及啓発活動として、川崎市立南原小学校周辺地域を三次元スキャナーで測定し、それを用いて区内小学校で出張授業を行う。 区役所庁舎及び市民館の庁舎電灯のLED化を促進する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区役所庁舎の「エコシティホール化」の一環として、区役所庁舎や高津市民館の電灯のLED化を実施した。 気候変動適応策の考え方を分かりやすく伝えるため、南原小学校周辺地域の3Dムービー等を作成し、それらを用いて南原小学校において気候変動適応策に関する出張授業を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	緑のカーテンの実施	目標	1				回
				実績	1				
	2	活動指標	3Dムービーを用いた小学校での出張授業	目標		1			回
				実績		1			
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	平成30年12月に国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化した「気候変動適応法」が施行されるなど、気候変動への対応に緩和策と適応策の両輪で取り組むことがますます重要となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和 元 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	これまで区役所庁舎等で実施してきた緑のカーテンについては、猛暑の影響により生育がよくないことなどから、令和元年度で取組を一旦終了し、見直しを行う。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	平成30年12月に国、地方公共団体、事業者、国民が気候変動適応の推進のため担うべき役割を明確化した「気候変動適応法」が施行されるなど、気候変動への対応に緩和策と適応策の両輪で取り組むことがますます重要となっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	出張授業を実施した南原小学校児童へのアンケート結果を見ると、気候変動適応策への理解が深まったことが確認できる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業手法等の改善の余地はある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 環境問題を身近な問題として捉えることができるよう、引き続き区民一人ひとりがそれぞれの立場でできる活動につなげる取組を行い、環境に関する区民の意識醸成を図っていく。	

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	15	高津区民祭周辺環境対策事業			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		高津区役所まちづくり推進部地域振興課			飯村	64351

事業の概要									
事業の概要		高津区民祭に関わる地域団体、出店者、来場者、周辺住民等が、廃棄物の減量化や再資源化への意識を高め、環境に配慮した高津区民祭となるよう、廃棄物の分別指導や減量化・再資源化等の啓発を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		環境まちづくり事業			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		高津区民祭は、町内会・自治会のほか、様々な地域活動団体が参加し、多くの来場者・出店者で賑わい、来場者数20万人という催事規模となっており、廃棄物に関するマナーや処理等について啓発や環境意識の醸成が求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,840	1,840	1,760	1,760				
財源 内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特材 一般財源	1,840	1,840	1,760	1,760				

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区民祭で廃棄物の減量化や再資源化など環境意識の向上に関する啓発を図る。
今年度の事業の取組内容	高津区民祭会場周辺の環境対策の周知・指導、ごみ集積所の設置に係る調整、ごみの分別指導、減量化・再資源化等の啓発アナウンス等を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	高津区民祭実行委員会を受託者とし、大田街道を会場とする区民祭のほぼ中央にメイン拠点として「ごみステーション」を設置。また、パネル展示やクールミストによる広報啓発を行うとともに、沿道警備、交通整理をはじめとしたスタッフ、参加者の水分補給所を提供した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1		目標							
			実績							
	2		目標							
			実績							
	3		目標							
			実績							
	4		目標							
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	住民ニーズの多様化、地域交流やつながりの希薄化が進む中、ごみ処理等をはじめとした地域環境の保全や美化に関する地域課題への取組や啓発機会の増加が求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 (年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内の大型イベントである「高津区民祭」で、地域課題のひとつである「ごみ」や「環境」に関する啓発を行うことは非常に効果的であり、意義が大きい。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	多くの地域住民や地域団体が参加するイベントである「高津区民祭」で広く周知、啓発活動を実施できた。またイベント開催に伴い発生したごみの適正処理とともに、地域環境について改めて考える機会の提供として効果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、より効率的・効果的な実施方法の改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 地域課題の解決に向けた事業内容や執行手法の検討を行いながら、事業継続する。

令和元年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	30	20	「エコシティたかつ」推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		桐ヶ谷	64121	

事業の概要									
事業の概要		「エコシティたかつ」推進方針に基づき、関係局や関係団体と連携して取り組みを推進し、区民の環境意識の醸成を図りつつ、持続可能な循環型都市「エコシティたかつ」の実現を目指す。 主な取組:「エコシティたかつ」推進会議及び「エコシティたかつ」推進フォーラム、たかつの自然の賑わいづくり事業、学校流域プロジェクト、たかつエコシティツアー							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		環境まちづくり事業費			
		平成20年度	—						
地域の課題と現状		高津区でも顕在化しつつある自然環境、社会環境、生活環境に関する諸課題に対して、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組む必要がある。特に、世界的な気候変動(地球温暖化)が進行し、異常気象や局地的豪雨などが区内でも発生し始めており、従来の地球温暖化緩和策に加えて、流域思考に基づく地球温暖化適応策と生物多様性保全の視点から取り組みを進める必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,442	4,191	3,630	3,294				
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財	175	175	174	77				
一般財源	4,267	4,016	3,456	3,217					

計画 (Plan)	
事業の目的	環境を大切にすることを育み、生命の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を地域から推進するとともに、気候変動による災害に適応するため、流域思考に基づく「水災害適応型都市」づくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	「エコシティたかつ」推進会議を開催するとともに、「エコシティたかつ」推進フォーラム、エコシティツアーを実施する。またに緑ヶ丘公園内のモデル地区で実践的な取組を展開するとともに児童向けのイベントを実施するとともに、区内の市立小学校などに環境学習支援を実施する。また、教職員向けの研修会を実施する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	「エコシティたかつ」推進会議を年2回開催した(3回目は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止)。エコシティツアーについては、推進会議委員の富士通ゼネラル㈱の協力のもと、同社の環境関連施設の見学を行った。なお、推進フォーラムは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。たかつの自然の賑わいづくり事業については、市立緑ヶ丘公園内のモデル地区で区内の子どもの対象としてに生き物の観察及び谷戸の見学を目的としたイベントを実施し、また、下作延小学校への学習支援として同地区にて、間伐体験や外来植物の駆除体験などを行った。学校流域プログラムについては、区内市立小学校等で環境学習支援を行うとともに、研修会を実施した。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1 活動指標	エコシティたかつ推進会議の開催	目標	3	3				回
			実績	3	2				
	2 活動指標	エコシティたかつ推進フォーラムの開催	目標	1	1			回	
			実績	1	0				
3 活動指標	たかつの自然の賑わいづくり事業の開催	目標	2	2			回		
		実績	2	2					
4 活動指標	たかつエコシティツアーの開催	目標	1	1			回		
		実績	1	1					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	国及び市でも適応策に関する計画・方針が策定されてきており(国:気候変動の影響への適応計画(H27)、市:川崎市気候変動適応策基本方針(H28)、国:気候変動適応法(H30))、適応策に関する関心・機運が高くなってきている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	世界的な気候変動が進行し、異常気象や局地的豪雨などが区内でも発生し始めており、従来の地球温暖化緩和策に加えて、流域思考に基づく地球温暖化適応策と生物多様性保全の視点から取り組みを進める必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	推進フォーラムが中止になったものの、たかつの自然の賑わいづくり事業の「水と緑の探検隊」では学校と連携することでより多くの区民に対して環境意識の普及啓発を行うことができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	学校流域プロジェクトにおいては、当該事業が学校へ浸透してきている一方で職員の負担が大きい。そのため、学習支援については、職員の役割を委託業者と学校間の調整に絞り、授業への立会を極力削減する。また、教職員向け研修会については、ニーズを確認しながら実施方法を検討するなど、改善していくことが望ましい。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 環境適応策に主眼を置いたイベント内容を検討する一方で、職員の負担増とならないように効率性を重視し、効果的な事業実施を図る。